

家庭数配付

令和6(2024)年9月27日 燕市立小池小学校

HP も随時
更新中

学校だより 月花星

2学期も、よろしくお祈いします

校長 亀山 正

2学期が始まってから、1ヶ月が過ぎようとしています。9月下旬になって熱中症の心配が少なくなり、過ごしやすくなってきて、「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」に相応しい気候になってきました。この秋にはさまざまな行事があり、子どもたちが力を伸ばすには絶好の時期となってきました。2学期も、よろしくお祈いします。

全校弥彦山登山が教えてくれたこと・・・

最近では、登山遠足をやる学校が、少なくなってきたとも聞きます。しかし、小池小学校では、なかよし班で協力して助け合いながらの登山には大きな意味があると考え、毎年実施しています。

さて、今週24日(火)に実施した全校弥彦山登山。予備日を設定できずに、日程変更での実施となりましたことにご理解をいただき、ありがとうございます。先週まで不安定だった天候も、当日は晴れて、暑すぎず寒すぎずという最高の天候に恵まれて実施できました。大きな怪我もなく、全員が登り、昼食を食べ、なかよし班での遊びを楽しみ、無事に戻って来ることができました。

6年生の振り返り作文を読むと、全校児童にとって、弥彦山登山は大きな意味があり貴重な体験であることが分かります。(紙面の都合上、4名の作文のみ紹介、【 】は、こちらからのコメント) 協力、優しさ、あいさつ、リーダーシップ等について、大きな学びがありました。6年生の皆さん、ありがとう。そして、6年生の指示を聞き、一緒に過ごした下級生も素晴らしいです。今回の登山でのよい姿を、小池小の伝統にしていきたいと思います。



A さん…今年の登山を通して、これからの生活で活かしたいことは、学年隔てなく協力するということです。もうこのメンバーで、掃除をすることは少ないけど、その掃除の時は、今日培った絆で班の皆で協力したいな、と思います。【絆を再び確かめることができ、協力のよさを実感できたのは、素晴らしいことです。下級生は、きっとあなたの行動を真似してよい行動をしていくはずです。】

B さん…めあては「低学年が困っていたら助けてあげる!」でした。私は、1年生の荷物を持ってあげることができました! 私が1年生のときに、荷物を持ってくれた6年生がいたので、その方の背中をお手本にし、励みました! 【過去の素晴らしい6年生に学んで近付こうとする姿は、すごいです。1年生は、とても嬉しかったと言っていました。】

C さん・・・大きな声で挨拶をすることを頑張りました。私が登山客の人に挨拶をしたら、1年生、2年生と続いて大きな声で挨拶をしてくれていたのが、とても嬉しかったです。登山客の人に挨拶をしたら、少し話してくれたり、笑顔で「こんにちは」や「いい挨拶だね」や「頑張って」などと言ってくれたりしたので、とても気持ちがよかったです。それで「頑張ろう」と思えたので、本当によかったです。【下級生をリードして一緒にあいさつできたのが、立派です。そして、登山客の人に褒められて、あいさつのよさを実感できたのは、あなた自身の行動がよかったからです。小池小学校も、あいさついっぱい素敵な学校にしていきたいと思います!】

D さん…私が今回の全校登山で心がけたことは1、2年生が辛そうだったら荷物を持ってあげることです。理由は、辛くてもうやりたくないと思ってほしくないからです。登山は辛いけど、諦めないで最後までやり遂げることを知ってほしいからです。それに荷物を持ってあげたら、今の1、2年生が6年生になって、これからの1年生の荷物も持ってあげてほしいからです。【あなたのリーダーシップと優しさを感じた1、2年生は、諦めないで最後までやり遂げることの大切さと優しさを感じたはずです。登山の大切さと優しさを伝えたあなたは、すごいです。そして、優しさのバトンが、下級生へ引き継がれましたよ。】

学校沿革史を見ると、昭和40(1965)年に、全校で弥彦山に登っています。全校でなく3年生以上で登ったり、登らなかった年もあったりしたようです。いちばん最近の全校弥彦山登山は、平成11(1999)年からと記されています。

活躍・入賞おめでとうございます (敬称略)

◇新潟日報杯第18回新潟県U10フレッシュバスケットボール大会中越支部予選会	優勝	燕ジュニアドラゴンズ			
◇新潟日報杯第18回新潟県フレッシュU10バスケットボール大会	第3位	燕ジュニアドラゴンズ			
◇原信ナルスカップ第33回夏の全国小学生ドッジボール選手権新潟県大会	優勝	M.U.D.C.			
◇令和6年度交通安全ポスターコンクール	優秀賞	6年 樋浦 百香			
◇令和6年度 MOA 美術館つばめ児童作品展 審査員特別賞	5年	栗山日奈子			
	金賞	4年 金井 晴			
	努力賞	2年 山田 敬瑚			
		6年 坂井龍志郎			
◇第18回 燕市民水泳大会					
1・2年男子50m 自由形	第1位	川崎 陽翔	第2位	熊谷 賢人	
1・2年男子50m バタフライ	第1位	川崎 陽翔	1・2年女子50m 自由形	第1位	能勢さくら
1・2年女子50m バタフライ	第1位	能勢さくら	3・4年男子50m バタフライ	第3位	長谷川陽汰
3・4年女子50m 自由形	第5位	田中 結莉	3・4年女子50m バタフライ	第2位	田中 結莉
5・6年男子50m 背泳ぎ	第2位	佐々木 晟	第3位	小畑 巳琴	
5・6年男子100m 背泳ぎ	第2位	佐々木 晟	5・6年女子50m 平泳ぎ	第6位	皆川乃々華
5・6年女子50m バタフライ	第3位	小黒 柑菜	第4位	山崎 彩葉	
5・6年女子50m 背泳ぎ	第5位	小黒 柑菜	5・6年女子100m 自由形	第2位	山崎 彩葉

令和6年度前期「保護者アンケート」にご回答いただき、大変ありがとうございました。

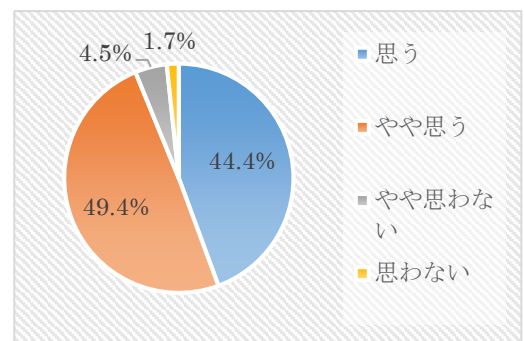
集計結果と、いただいたご意見の中で、全校に関わるものについてのみ、お知らせいたします。

＜集計結果＞ 回答数/児童数 (回答率) 178名/214名 (83%)

質問項目		肯定的評価(%) (思う・やや思う)
学力向上	1. お子さんは、学校の授業が分かりやすいと感じていますか。	87.0
	2. 学校は、学力の向上に取り組んでいますか。	91.6
豊かな心	3. お子さんは、学校生活を楽しいと感じていますか。	93.3
	4. 学校は、あいさつなど基本的な生活マナーの向上に取り組んでいますか。	93.2
健康・体力向上	5. お子さんは、適度な運動をしていますか。	85.3
	6. 学校は、健やかな体づくりや生活習慣の向上に取り組んでいますか。	95.5
全般	7. 学校は、保護者や地域からの連絡・相談に対して適切に対応していますか。	92.1
	8. 学校・学級・保健等の各種たよりやホームページ等で、学校の様子が伝わっていますか。	94.9
	9. 総合的にみて、小池小学校の教育活動や指導内容に満足していますか。	93.8

○ 学校の取組全般について

設問9の小池小学校の教育活動に関する総合的な満足度は、**93.8%**(思う44.4%、やや思う49.4%)で、肯定的な評価をいただきました。(右グラフ参照)子どもたちの様子も、定期的にホームページ、学校・学年(学級)だよりでお知らせしています。また、保護者の皆さんや地域の方のご意見を聞きながら、引き続き、足並みを揃えてやっていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。



○ 学力向上について

設問1では、肯定的評価が87.0%でした。授業改善に日々取り組み、授業で「できた」「分かった」と感じる子どもたちが更なるように、職員全員で情報共有しながら努めていきます。

○ 豊かな心について


設問3は93.3%で、学校生活を楽しいと感じている子どもが多いのはよい傾向です。これからも学級内及び縦の学年の繋がり(なかよし班)を深めるようにして、楽しく過ごせるようにしていきたいと思ひます。設問4は93.2%ですが、あいさつについては、自由記述でもご意見をいただいたように、改善すべき点があります。小池中学校と連携した小中合同あいさつ運動、校内で行う各学年のあいさつ運動で、あいさつが習慣化するように努めていきますので、ご家庭でも、たくさんあいさつを交わしてもらえればと思ひます。

○ **健康・体力向上について**

保護者の皆さんと一緒に生活リズムチェック週間、小中連携の生活実態調査のおかげで、一定の評価をいただき、設問6は95.5%でした。保護者の皆さんにとっては大変だと思いますが、正しい生活リズムの習慣化は、お子さんのより良い成長に必要不可欠です。それをご理解の上、これからもご協力をお願いします。

○ **貴重なご意見、ありがとうございます。～自由記述欄～**

自由記述では、学校の取組に対する意見・要望をいただきました。紙面の関係で、全ての意見・要望に対しての回答はできませんが、学校全体にかかわる事柄について、以下のとおり回答いたします。

		Q.ご質問・ご意見	A.回答		
学	学	Q. 教育や活動は、満足です！ただランドセルが常に重たくて子供達は、どうなんだろうと思います。勉強道具が重いのは、仕方のないことですが、今の時代Chromebookがあるので、持ち上げると大人でも重たい！と感じます。どこの学校もみんなこれくらい重たいものなののでしょうか？	 <p>A. 燕市では、市内の全小中学校で毎日タブレットを持ち帰っており、「重たいので何とかならないか」という意見は、当校だけではないようです。当校では、荷物の軽減化するよう、教科により教科書・ノートを学校に留め置いています。子どもの状況を見ながら、少しずつでも負担感が軽減できるように、やっていきたいと思っています。</p>		
		Q. 学校の授業で理解していない子どもに、家庭学習でのサポートは無理があります。放課後学習等で、定期的にフォローアップしてもらいたいです。	A. 学校の授業では、これからも、できる限り、お子さんの理解ができていない部分を補うようにしています。3・4年生対象の放課後学習教室へ参加するお子さんの場合は、お子さんがよく理解できていない部分を中心に教えることができるように、ボランティアの方に伝えます。なお、ご家庭でも、次の二点をぜひお願いします。①お子さんが分からないと言えるように、助言してください。分からないことは、悪いことではありません。②ご多用のこととは思いますが、毎日少しの時間でよいので、ご家庭で、宿題や学習ノートを見ながら、お子さんと会話していただけるとありがたいです。そこで、学習内容の分かる所と分からない所が明確になり、それが、学校での授業や放課後学習教室に繋がっていきます。		
あ	い	さ	つ	Q. あいさつについて、学校でも取り組んでくださりありがとうございます。朝登校の立哨指導した際も、挨拶してくれる児童が増えたと感じ、嬉しく思っています。一方、毎朝声をかけても全く挨拶が返ってこない班も、あります。地域や家庭からも、どうアプローチしたらいいかなと考えあぐねています。	A. 子どもたちに積極的にあいさつをしてくださり、ありがとうございます。アンケートの結果を見ると93.2%と、肯定的な評価をいただいておりますが、朝のあいさつでは、返すことができない、声が小さい子どもがいるのが残念です。学校では、あいさつはコミュニケーションの第一歩であることを、これからも指導し励ましていきます。職員も、廊下で子どもとすれ違う時、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」のあいさつを交わすようしています。来校者に対してもできるように、励ましていますので、ご家庭・地域でも声を掛け続けることをお願いします。昨年からは、地域コーディネーターさんとボランティアの方のお力も借りて、あいさつ運動を実施し、保護者の皆さんにも気軽に参加していただけるようにしています。マチコミメールや配付文書、ホームページでも、あいさつ運動を紹介しますので、ぜひとも、保護者の方からもご参加いただき、一緒にあいさつを交わしてみませんか。子どもたちのあいさつがよくなれば、保護者の方も地域の方も、子どもたちもよい気分で過ごせるようになります。ご協力を、よろしくお願いします。
				Q. おたよりを紙ベースではなく、マチコミ等で流して貰えるとありがたい。	・ペーパーレス化できるものを検討して、やっていきたいと考えています。ただ、紙ベースで内容を確認してもらおうべきもの、提出が必要となるものもありますので、それらは引き続き紙での配付となります。ご承知おきください。なお、学校だより、保健だよりは、ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。
学	校	生	活	・言葉遣いがきつくなってきていると思うので、気を付けたいと思います。	・ご家庭での取組、ありがとうございます。学校でも、「黄金のルール」をもとに、優しく温かい言葉、言われて嬉しい言葉を使うことできるように、取り組んでいます。学校生活(特に授業)では、呼び捨てやあだ名ではなく「〇〇さん」で呼んでお互いを尊重できるように、努めています。ご家庭でも、優しく温かい言葉、言われて嬉しい言葉をたくさん使うように、声を掛けていただけるとありがたいです。
				Q. 給食の食事時間を、もう少し長くとれるといいです。	A. 給食の食事時間を長くするには、校時表を見直して、食事時間を5分多く取り、下校時刻を5分遅くすることが考えられます。しかし、下校時刻を遅くすることは、好ましくありません。そこで、学級内で協力し配膳を早く終えることで、食事時間を長くする方法があります。12:25くらいに「いただきます」を言った後は約20分間の食事時間になりますが、配膳を3～5分間早く終えれば、その分長くなります。これから、各学級で今よりも早く準備ができるように、子どもたちを支援していきます。

学 校 行 事	<p>Q. 運動会の種目について、全校リレーなど全校児童が関われる競技があってもよいのかなと思います。淡々で行われている感じがとても感じられ、盛り上がりがないのかなと思います。</p>
	<p>A. 確かに、コロナ禍前は、今より多い競技で、全校児童が関われるように、午前・午後と行っていました。しかし、近年の気温上昇により熱中症が心配される中、子どもたちの安全を第一に考えると、午前開催が最適と考えられます。時間は限られていますが、少しでも盛り上がり、学年の枠を超えた関わりができるように、来年度以降も検討していきたいと思います。</p>
	<p>Q. 登山や、修学旅行の時のおやつ持参が無くなったのは、子どもたちの楽しみが奪われて、残念に思います。他の学校では、持参していると聞けば、やはり、子供達は納得出来ていないようです。廃止と決めてしまう前に、アンケートなど出来ないものなのでしょうか？</p>
	<p>A. 確かに、子どもたちの楽しみが減っているかもしれません。しかし、おやつがあると、おやつ交換による食物アレルギー事故が起こる可能性も否定できません。アレルギー事故が起きた場合、アナフィラキシーショックで死に到るケースもあります。そのような理由で、小池小学校では、事故を起こさない登山や修学旅行にするためにも、おやつを持ってこないこととしています。（修学旅行では旅行先の食事についても、食物アレルギーの事故が起きないように、旅行業者と綿密に打ち合わせをしています。）また、それぞれの行事は大切な学習活動であり、目的を達成して子どもを成長させたいと考えており、おやつがなくても大丈夫であると考えています。どうか、ご理解ください。 (※この件については、8月30日配付の「全校登山のお知らせ」でも、明記してあります。ご承知おきください。)</p>
登 下 校 ・ 下 校 後 の 生 活	<p>Q. 水筒を肩からぶら下げないと言うのですが、ランドセルは、常にパンパンで水筒が入るスペースがないです！</p>
	<p>A. 荷物の関係で、水筒を肩から掛けることはあると思います。水筒により怪我をすることのないように、安全に歩いて登下校することが、いちばん大切です。走ることなく歩いて登下校するように、お声掛けください。</p>
	<p>Q. 登下校時、歩道のない道路で、横3列4列に広がって歩いている子をよく見掛けます。(特に高学年)車が来ても避ける素振りがないこともあるので、注意を促してほしいです。</p>
	<p>A. この件に関しては、地域の方からも情報をいただいています。歩道のない道路で広がり、車が来てもよけないことは、大変危険です。怪我や命を落とす事にも繋がりがかねません。学校でも、高学年を中心に全校に指導しています。そして、登下校の様子も、見たり聞いたりしていきますので、ご家庭でも、他の方に迷惑を掛けない安全な歩き方について、お声掛けをお願いします。</p>
そ の 他	<p>Q①. 生活リズムチェックは、親が大変。早く寝かせたいが、仕事でできない親もいる。つらい。 Q②. 生活リズムチェックでは規則正しい生活ができなく、産まれた時から夜型の子どものもいます。悩みました。なるべく努力はしていますが、理解していただけるとありがたいです。いつも大変お世話様になっております。</p>
	<p>A. お仕事で忙しい中、生活リズムチェックをやっただき、ありがとうございます。小学校における子ども時代の正しい生活リズムの習慣化は、正しく成長する上で、非常に大切なことです。それを理解していただき、申し訳ありませんが、次回もぜひご協力をお願いします。ただ、それぞれのご家庭の事情がありますので、無理のない範囲でお願いします。</p>
励 ま し の コ メ ン ト	<p>○ 先日の生活リズムチェック週間や、挨拶運動、日々の宿題などの様子を見ると、子ども達のために出来ることを、一生懸命取り組んでいただいているように感じます。家庭教育につきましても、学校や先生からのお便りを参考に、日々試行錯誤しながら、今後も取り組んでいこうと思います。</p> <p>○ いつも、ありがとうございます。勉強だけではなく、人間性も見ただけでありがたいです。</p> <p>○ 学校生活の相談等、お忙しい中対応していただき、担任の先生にとっても感謝しています。子どもも、先生を信頼している様子です。今後ともよろしくお願いします。</p> <p>○ 楽しく学校生活を送れているそうです。勉強も分かりやすく、友達にも恵まれていて毎日過ごしています。ありがとうございます！</p> <p>○ 頑張っているところ、良いところを褒めたり、認めたりしてくださるのは本当に子どもの自信になるなと思います。ありがとうございます。</p>
	<p>【学校から】 多くの温かいお言葉、大変ありがとうございます。私たち職員の励みになります。これからも、子どもたち一人一人のよさを伸ばしながら、成長することができるように努めていきます。よろしくお願いします。</p>



保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、学校の教育活動が円滑に運営され、有意義なものになっておりますことに深く感謝申し上げます。アンケートの結果を、これからの教育活動に生かしてまいります。保護者の皆さん、地域の方々、そして学校が力を合わせて、子どもたちが明るく元気に通える学校づくりに努めてまいりますので、今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。